



ほほえみ

2020.7.1

(令和2年7月1日)

第182号

大竹市社協・大竹市民児協だより合併号



コロナに負けるナ!!

工夫しながらサロンを再開!!

フレンド中津ふれあいサロン
会場 木野交流館

6月9日(火)コロナウイルス拡大の影響を受け3か月間お休みしていたサロンが、3密や感染予防に気を付けながら、久しぶりに開催されました。

フレイル(生活不活発病)予防体操・レクリエーションゲーム・手芸を楽しみました。



工夫

- ①窓をあける
- ②手洗い・消毒
- ③机の向き
- ④おしゃべりをするときは必ずマスクをつける



ふれあいネットワーク

愛ちゃん と 希望くん



この広報紙は共同募金（赤い羽根）配分金を受けて発行しています。

令和元年度大竹市社会福祉協議会が行った取り組みについて

大竹市社会福祉協議会では、「住民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」を基本とし、各種福祉事業を実施することができました。多くの皆様、ご協力とご参加ありがとうございました。



子育て中のおかあさんのための
和紙を使った楽しいワークショップ



大竹市災害ボランティアセンター
運営シミュレーション研修



夏休みボランティア体験



ひきこもり支援の会

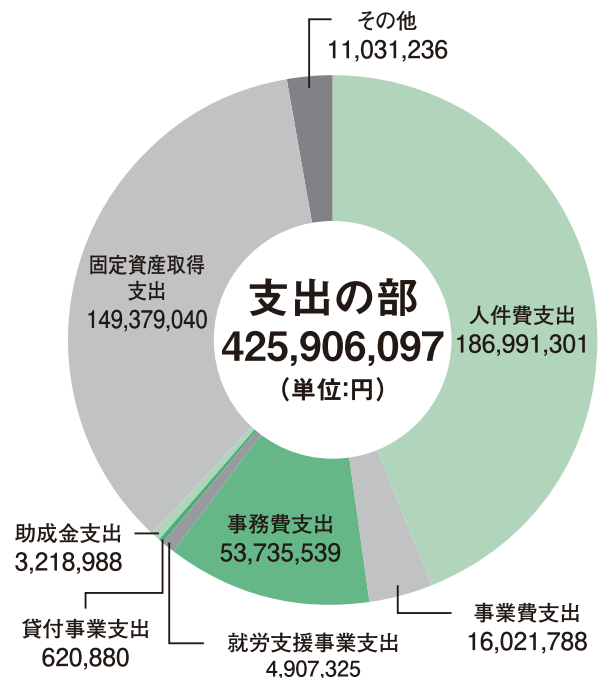
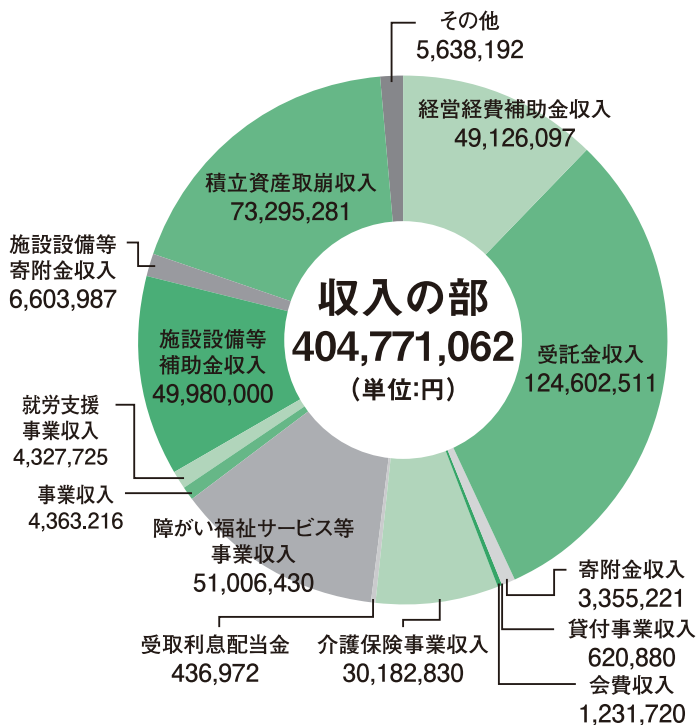


ふれあいサロン活動支援



手をつなごう講演会
(障がい福祉サービスの利用方法)

令和元年度 大竹市社協決算概要



収入合計 404,771,062円 支出合計 425,906,097円 差引繰越額 $\triangle 21,135,035$ 円

こんにちは！大竹市地域包括支援センターです。



新型コロナウイルス感染症をはじめいろいろな感染症が心配です。正しい予防を行い拡大防止にご協力をお願いします。感染症には、次の様なものがあります。

・インフルエンザ
・肺炎
・ノロウイルス
・食中毒
・風邪

日常生活での予防

●手洗いとうがい

外出先から自宅や施設に帰宅した時、手洗いとうがいを行います。

指や爪の間もしっかり洗いましょう。

●からだを清潔に

身体はもちろん、口腔や陰部は汚れが溜まりやすいので、特に清潔を保つように心がけましょう。

●十分な睡眠と栄養

体調を崩すと感染症への抵抗力が落ちます。十分な睡眠と栄養をとるようにしましょう。

●せきエチケットを守る

せきやくしゃみなどで飛沫感染は広がります。マスクをするかマスクが無い時はハンカチ等で口を覆いましょう。

高齢者は感染症になると重症になり、回復に時間がかかることもあるため何よりも予防が重要です。

「いつもより寝ている時間が長い」

「食欲がない」「声に元気がない」

など普段と違う様子に気づいたら、

早めの受診を心がけましょう。

そのためには、日頃のご自身の体調を管理し、小さな変化にも気づくことが大切です。

【問い合わせ】大竹市地域包括支援センター TEL 53-1165

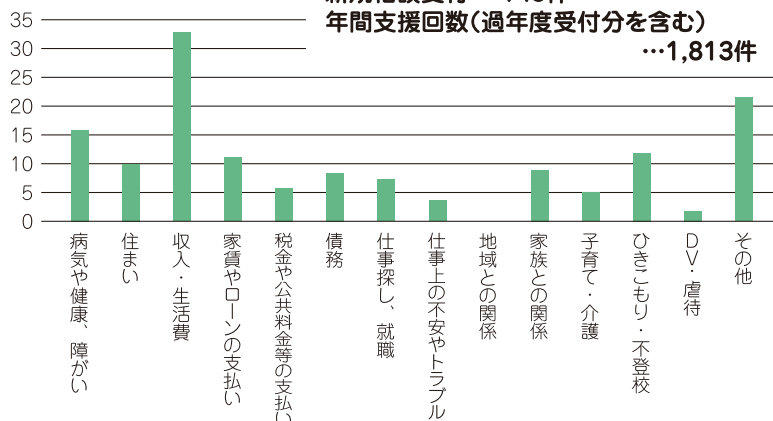


よりそいサポートセンターです。ひとりで悩まず、ご相談ください。

生活の不安や悩みごとを、ひとりで抱えていませんか。「どこに何を相談したらいいのか、わからない…」多くの場合「困っていること」は一つではありません。よりそいサポートセンターでは、時間をかけてお話を伺いながら、一緒に課題を整理します。一つひとつの困りごとを解決するために、市の担当課や専門機関と連携しながら、相談者に寄り添った支援を行います。

相談内容(令和元年度)

新規相談受付 …145件
年間支援回数(過年度受付分を含む) …1,813件



相談は、電話またはメールでも受け付けています。ご自宅等へ訪問することもできます。



《相談窓口》よりそいサポートセンター(相談支援課:サントピア大竹2階)
TEL (0827)35-5300 FAX (0827)52-2247
メール:otake-shakyo.yorisoi@docomo.ne.jp

お お た け し し ょ う し ゃ そ う だ ん し え ん

大竹市障がい者相談支援センター

☆相談支援事業所の主な役割についてご紹介します☆

★相談支援

心や身体に不安のある方、障がいのある方などが生活、仕事、将来のことなど悩みや心配ごとに
 対し、助言や必要な情報提供等を行います。ケースによっては関係機関と連携し、必要な援助も
 行います。

★計画相談支援

一人ひとりに応じた「サービス等利用計画」(ケアプラン)を作成し、障がい児・障がい者の自立
 した生活を支え、抱えている課題の解決や適切なサービス利用に向けて、よりきめ細かく支援しています。
 その後の状況の把握や継続的な評価を行っています。

みなさんが安心して生活ができるようにお手伝いします。悩まず、まずはご連絡ください。

お問い合わせ・ご相談

TEL52-0167

〒739-0603

大竹市西栄2-4-1 (大竹市総合福祉センター サントピア大竹 2階 相談支援課)

FAX:52-2247 メール:soudan@otake-shakyo.or.jp

「ぶらっとほーむ」

新施設での生活がスタートし、職員も利用者も少しずつ慣れてきた様子です。以前の場所に
 比べて、静かで自然も豊かなので昼休みには川べりを散歩したり、日向ぼっこをしたりと思い
 いに過ごしています。

先日、農園に、みんなで菊芋を植えました。準備段階では土がとても固く、掘っても掘っても
 石がゴロゴロ出てきて、ここに植えて大丈夫なのか…と思うほど。農業経験もほとんどないの
 で、皆で試行錯誤しながら取り組んでいます。

ほかにもレタス、トウモロコシ、ジャガイモ、サツマイモ、トマト等を植えました。

はたしてうまく実るのかこうご期待！



菊芋植えつけ作業

就労継続支援B型事業所

さつき作業所

TEL 57-3935

大竹市御園二丁目11-15

FAX 35-5758(共通)

就労継続支援B型事業所

アイビー作業所

TEL 35-6655

FAX 35-5758(共通)

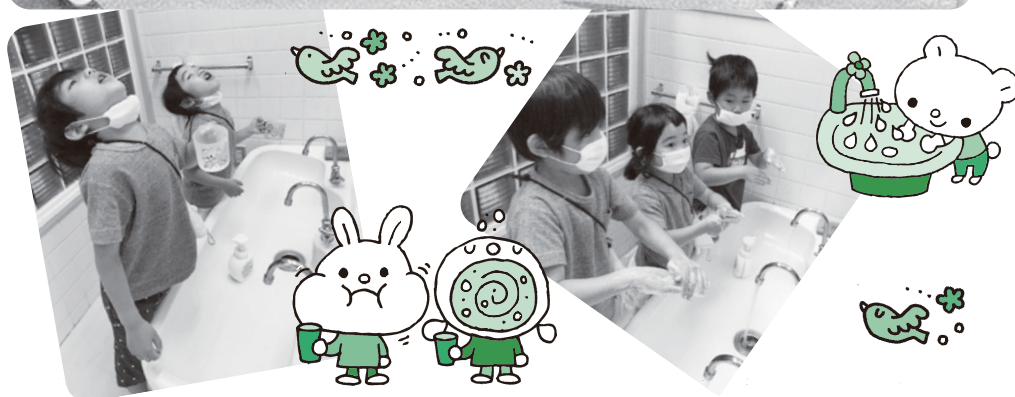


4月8日に2歳児1名の入園式を行いました。新しい生活にも慣れてきて子どもたちは元気いっぱい、外を走り回っています。外から帰ったらウイルスに負けないよう手洗い・うがいも忘れずに!! 子どもたちも積極的に取り組んでいます。

第46回 入園式 4月8日(水)

阿多田保育園

大竹市阿多田403-9
TEL 53-7062



●いきいきサロン・体操教室を開催するときの注意事項●

コロナウイルス感染の心配もありますが、6月から地域の活動を再開しています。各地区の皆さんは、工夫をしながら楽しい時間を過ごされています。次の注意事項を参考にしてください。

- 体調の悪いときは参加を控える
参加時に体温の測定をする※家で測る
(咳、息苦しさなど風邪のような症状が続き
自分の平熱より1℃以上高い場合は参加しない)
- 会場に入るとき、まず手洗いをする
- 参加者の手の触れる場所をアルコールを含有したもので定期的にふき取りを行う
※ない場合水ぶきでも可
- 飛沫感染等を防ぐために徹底した対策を行う
マスク着用・手が届く範囲以上(2m)の距離を保つ
- 定期的に会場の換気を行う 人数制限等
- 基本的に飲食は当面の間避けること ※水分補給は各自でこまめに行う



問い合わせ先: 地域福祉課 地域福祉係 TEL 52-2275

あたたかいご寄付 ありがとうございます

令和2年4月1日から
令和2年5月31日まで

皆様からいただいたご寄付は、福祉のまちづくりのために、有効に活用させていただきます。

ここに、ご芳名を掲載させていただきます。また、ご寄付の旨を、誠に厚くお礼申し上げます。(敬称略)

※金額表示につきましては、ご寄付者のご意向によるものです。

◆香典返しにかえて

3万円	父 邦彦 小清水与彦 西米一
金一封	母 ノブ子 村本幹夫 油見三
〃	母 澄子 谷岡和則 前飯谷
〃	夫 清一 品川静代 立戸二
〃	祖母 カツ子 大村圭司 港町一
〃	義母 フカ子 稲見恵美子 木野一
〃	夫 浩一 村田啓子 南栄二
〃	父 英一 大原豊 元町一
〃	母 寛子 中本力生 元町四
〃	母 タカ子 正木勝 防鹿
3万円	父 忠夫 古川一夫 阿多田

◆一般寄付

1万5千円

(株)ユニマツトプレシヤス

広島西力ントリー倶楽部

災害復興チャリティーゴルフ収益金の一部として

金一封 匿名

東南アジアの子どもを就学させるため

〃 川岡 昭秋 立戸二

厚生労働大臣特別表彰受賞記念として

〃 佐伯 一三男 本町二

厚生労働大臣特別表彰受賞記念として

〃 上杉 節子 本町二

厚生労働大臣特別表彰受賞記念として

〃 舩本 慶子 新町一

厚生労働大臣特別表彰受賞記念として

〃 匿名

◆指定寄付「へさつき作業所」

2万円 顕徳寺 仏教婦人会

1万円 匿名

金一封 匿名

◆指定寄付

「へさつき作業所」「アイビー作業所」

ダンスサークル アビートクラブ

マスク100枚

《合計金額 22件 27万8千円》

6月1日（月）からサントピアが使用できるようになりました。

長い自粛生活の中、気になるのが動かなくなること・・・
動かないことで心身の動きが低下していきます。
サントピアでは運動不足による生活不活発病(フレイル)
を予防するビデオを放映中です。
いつ来られてもお一人でも気軽にできる体操です。
1階ロビーにて日替わりで流していますので是非ご来館ください。
※場合によっては“3密”を避けるため人数制限をすることも
ありますので、ご了承ください。



メニュー

- ペットボトル体操 ●ボール体操
- タオル体操 など

相 談 窓 口

事業名	と き	時 間
司法書士による相談(要予約)	毎月第3木曜日 (祝日休み)	13時00分～ 16時00分
よりそいサポートセンター	月～金 (祝日休み)	9時00分～ 17時00分
障がい者相談支援センター	月～金 (祝日休み)	8時30分～ 17時15分
地域包括支援センター	月～金 (祝日休み)	8時30分～ 17時15分

学 習 会

事業名	と き	時 間
手話「さつき」	毎週火曜日	19時00分～ 20時30分
手話「ママとかめの会」	毎月第1・3木曜日	10時00分～ 12時00分
手話「ぼぼんた」	毎月第2・4月曜日	10時00分～ 15時00分
点字「あけぼの」	①月初め(広報等の点訳) ②第3土曜日(勉強会)	9時30分～ 9時30分～ 11時30分
「あけぼの」音訳	毎月第2・4金曜日	10時00分～ 12時00分
要約筆記「ふたば」	毎月第1・3土曜日	13時00分～ 15時00分



民児協だより

第46号

大竹市民生委員児童委員協議会

大竹市西栄2丁目4-1
TEL 53-8121

令和2年度大竹市民児協総会

令和2年度大竹市民生委員児童委員協議会定期総会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で書面審議の方法で行われました。

今日、少子高齢・人口減少社会が進展する中、社会的孤立や生活困窮、子どもの貧困、虐待など、地域住民の抱える課題が複雑化・多様化しています。加えて、度重なる想定外の自然災害や感染症の拡大などが生じる昨今では、関係機関が協働して、日頃から支援体制づくりやリスクに備えておくことが求められています。また、全国的には「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが進められており、その中で、地域に根ざした支援活動を行っている民生委員児童委員には、その中核的な担い手としての期待も寄せられています。

大竹市民児協においては、新体

制の下、民生委員児童委員の長年にわたる目標でもある「誰もが笑顔で安全に、そして安心して暮らすことができる地域づくり」に向け、広島県民児協をはじめ、大竹市、大竹市社協と連携を緊密にしなから、新たな気持ちで、地域の特性を踏まえた取り組みを推進したいと思います。

民生委員児童委員が決まりました

新たに次の地区の民生委員児童委員が決まりました。

山本 竹生 木野2丁目全域
河村 薫 御園1丁目2番、3番

御園2丁目1、3番

5(5の1)番

選任中の地区は次のとおりです。

- ・木野1丁目全域
- ・本町1丁目全域
- ・油見1丁目全域
- ・立戸2丁目全域、立戸4丁目2、6番

御幸町

こんにちは

赤ちゃん訪問について

毎月、生後3か月目のお子さんをお持ちのご家庭を、市保健師、主任児童委員、民生委員が訪問させていただきます。今年3月から6月の間は、新型コロナウイルス対応として、訪問を控えていました。子育てに関する悩みなどがございましたら、遠慮なくお近くの主任児童委員にご相談ください。

なお、7月からは訪問を再開する予定となっています。

また、すこやか人形（大竹市社協作製の出生祝い人形）の申請希望の方も、お近くの主任児童委員が民生委員にご連絡ください。（訪問できていない対象は、令和元年12月～令和2年3月生まれのお子さんとなります。）



男の子用



女の子用

新しい生活様式の実践をしましょう

今年は、春から新型コロナウイルスの感染症に関する報道は絶えず、不安な日々をお過ごしのことと思います。

この新型コロナウイルス感染症の予防対策として、国や広島県などは、「新しい生活様式」を推奨しています。「自分が感染する心配」や「人に感染させる心配」も大きいのではないかと思います。が、「新しい生活様式」を実践して、新型コロナウイルス感染症を、市民の皆さんとともに乗り越えたいと思います。

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- ☐ 人との間隔は、**できるだけ2m（最低1m）**空ける。
- ☐ 遊びにいくなら**屋内より屋外**を選ぶ。
- ☐ 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける。**
- ☐ 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、**症状がなくてもマスク**を着用
- ☐ 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- ☐ **手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に**洗う（手指消毒薬の使用も可）

※高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- ☐ まめに**手洗い・手指消毒**
- ☐ 咳エチケットの徹底
- ☐ こまめに換気
- ☐ 身体的距離の確保
- ☐ **「3密」の回避（密集、密接、密閉）**
- ☐ 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



出典:厚生労働省ホームページ「新しい生活様式」から抜粋